



編集

紅葉が見事！自由学園内めぐり



昭和5年の初等部校舎校舎から始まった自由学園校舎群は、現在東京都選定歴史的建造物に指定されています。園内敷地面積は約3万坪、武蔵野の自然を残した園内はちょうど紅葉が見ごろでした。そんな中、建築家である自由学園宮井さんの説明を受けながら、日頃より自由学園の建築物に興味をもつ15名の市民が、園内を巡りました。

(市民レポーター球歩)



設計者は遠藤新、アメリカの有名な建築家F.L.ライトが設計した旧帝国ホテル建築にチーフアシスタントとして参加しました。



大谷石が多く使われており、温かさを感じさせます。池、噴水とともに特徴の一つとなっていますが、これはライトの影響なのだそうです。

照明や家具なども建物に合わせて、遠藤新が設計しました。



皆さんも一緒にめぐりましょう！

(クリックすると拡大表示されます)



周りの自然環境との調和がなんと素晴らしい！！

説明の初めに、宮井さんが言われた"建物と建物の間"の大切さがこれなのです。

心満たされた数時間でした。

(長い時間をさいてご説明いただいた宮井様および自由学園様に感謝いたします) また、大部分の写真を提供頂いた石川睦美/big-crunch.jpさんにお礼いたします。